



赤徳東中学校
学校だより

校訓
遵明奉協自
法朗仕同主

若木

第 12 号

2022年3月
編集 校長 勝谷英策

学校教育目標

「高い志を持ち、学ぶ意欲と思いやりの心が充ちる生徒の育成」
～『志』高く、行動力と、やさしさのあふれる学校をめざして～

御卒業おめでとうございます

3月9日、体も心も大きく成長した3年生が卒業していきました。保護者の皆様には、お子様の3年間の成長は感慨深いものがあったことと思います。本人達の頑張りや努力は言うまでもありませんが、子供達の成長を支え、見守り、協力いただいたご家庭、地域の皆様に、心から感謝いたします。本当にありがとうございます。

式の前半から、気持ちや涙をこらえるのが難しくなっている姿があちこちにありました。今宮さんの答辞が始まると、たくさんの生徒が涙を拭き、肩を揺らしていました。嬉しかったこと、悔しかったこと、悲しい、辛いこと、頑張ったこと・・・いろいろなことが思い出されたのだと思います。人は、たくさんの失敗や過ち、成功や感動を通して成長していきます。卒業生達は3年間で本当に大きく成長しました。とても素晴らしく、そして本当に嬉しく思います。



(今宮さんの感動の答辞)

私は、卒業式は卒業する子供達とそれを喜ぶ保護者の皆様のためにあるのだと思っています。お家の方には子供達の背中しか見えず、残念な

気持ちもあるかと思いますが、ですが、それも少しずつ子離れをしていくための儀式かもしれないと思っています。子供達にはまだまだ親の愛情や助けが必要です。でも、いつまでも子供を助け続けることはできません。そして、いつか子供達も親の手を離れ自立しなければなりません。親として、とても寂しい気持ちにもなりますが、子供には子供の未来があります。子供は自立を目指し、親は子供を信じて送り出す。卒業式はそんな節目の日なんだと思います。

未来に向かって羽ばたけ！卒業生！

3.11 東日本大震災追悼集会に思う

日本は世界でも本当に自然災害が多い国です。日本の土木技術は世界最高と言われているので、私たちは日々、安心して生活しています。ですが、それは過去の人たちが築きあげた知識と技術によるものだということを忘れてはいけません。「天災は忘れた頃にやって来る」、「地震・雷・火事・おやじ(大風)」と教えられました。一番恐ろしいものは自然災害だと。

世界では人と人との争い、戦争があります。いつも世界のどこかで戦争があります。今、ウクライナで戦争が起きています。日本にも争いはありますが、「和をもって貴しとなす」と言われるように、日本人は協力することを第一とし、なるべく争わないことをよしとする考え方があります。人間の力は大自然の力の前では無力に等しいからです。人を恨む気持ちは「水に流し」、嫌いな人とも協力しなければ生きていけない。

そんな歴史の記憶が体の中に染みこんでいるんじゃないかと思います。

東北の震災では、ぎりぎりまで逃げ遅れた人、逃げられない人達を一人でも多く助けようとして、たくさんの消防隊員や消防団、警察、役場の人達が津波に巻き込まれて命を落としました。

災害後は、救助のために救急隊員や医師、看護師、自衛隊、消防、警察、ボランティアなど大勢の方が駆けつけました。世界中からも多くの支援があつまりました。

福島では原発が水蒸気爆発を起こし放射能が拡散し、さらに大爆発し大惨事になるところを命をかけて防いだたくさんの人達がいました。

「日本が無くなるかもしれない？」そんな大きな事故になるところでした。

「がんばろう！日本」

「がんばろう！東北」

この言葉に勇気を得て、救助や支援する方だけでなく、被災した方々も行方不明者の捜索、復興支援に加わっていました。たくさんの日本人が、海外の人達が、誰かの役に立とうと、それぞれができることを行動にしました。

救援物資を集める人、運ぶ人、テントを立てる人、停電を復旧させる人、断水を直す人、優しい言葉をかける人、笑顔を届ける人、寒い中、必死で頑張ったたくさんの方々がいたことを決して忘れてはいけません。

「自分さえよければいい」という考え方は全くありません。そんなことをしていたら協力も援助をしてくれる人もいなくなります。

震災の日からしばらくの間、悲しく辛いニュースが流れる中、優しい人達、こころがあたたくなる行動が日本中でたくさん湧き起こりました。「困ったときは、おたがいさま」、日本に生まれたことを誇りに思いました。

3.11 はそのことを思い出し、語り継ぐ日です。

専門委員長・副委員長

生徒会役員が決定した後、生徒会専門委員長・副委員長の選考がありました。

6つの専門委員会に、2年生から30人を越える立候補がありました。6人の生徒会役員と合わせると、**2年生の3人に1人が立候補**したことになります。**2年生の皆さんの「やる気」と「成長」に、驚きと嬉しさと頼もしさ**を感じました。選考に漏れたかどうかは関係ありません。自分も「**やってやろう！**」と行動（立候補）したことに意味があるのです。皆さんは、4月から、きっと、この赤穂東中学校の最上級生として先輩として活躍してくれる、そして、去年・今年先輩を手本とし、さらに前進してくれる、そんな予感を感じています。

誰かと比べる必要はありません。君たちが目指す、君たちだからこそ創り上げることができる、そんな赤穂東中学校生徒会を目指して、今日一日を過ごしてみてください。一年後がいまからとても楽しみです。

1年生の皆さんも、2年生と協力して、毎日、「学校に行くのが楽しい」そんな学校づくりに協力してください。誰かに頼るのでなく、自分たちの力で創り上げる。是非、そんな経験をしてください。

Mastery for Service. 私の好きな言葉です。意味は、サービスの達人になれといったところでしょうか。誰かの役に立つことが、結局は自分の幸せにつながると思います。（利他の心）

どんな小さなことでも、何か**自分にできることから始めてみよう！**

3月下旬・4月上旬の行事予

- 24日（木）修了式
- 25日（金）春季休業（～4/5）
生徒会リーダー研修会
- 4月6日（水）離任式・着任式・始業式
- 7日（木）入学式
- 11日（月）給食開始（2,3年）
- 16日（土）参観日・PTA総会
- 18日（月）振替休日

